

製品名: PAPLN マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81269**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	137.7kDa

抗原情報

遺伝子名	PAPLN
別名	Papilin
遺伝子 ID	89932.0
SwissProt ID	O95428
免疫原	大腸菌で発現したヒト PAPLN (AA: 766-870) の精製された組み換え断片。

背景

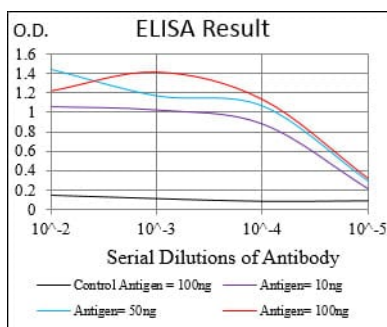
パピリンは、原腸形成期の薄いマトリックス層、遊走に関連するマトリックス、貪食性血球、基底膜、およびショウジョウバエの発生過程における空間充填マトリックスに関与する細胞外マトリックス糖タンパク質です。cDNA 配列の決定により、線虫類および哺乳動物

乳類のパピリンが同定されました。パピリンのアミノ末端にある明確に保存されたドメインの「パピリンカセット」は、分泌型マトリックス関連メタロプロテアーゼの ADAMTS サブグループのカルボキシル末端でもあります。このカセットには、1つのトロンボポンジン1型 (TSR) ドメイン、特定のシステインリッチドメイン、および複数の部分的な TSR ドメインが含まれています。in vitro において、パピリンは ADAMTS メタロプロテアーゼであるプロコラーゲン N プロテアーゼを非競合的に阻害します。

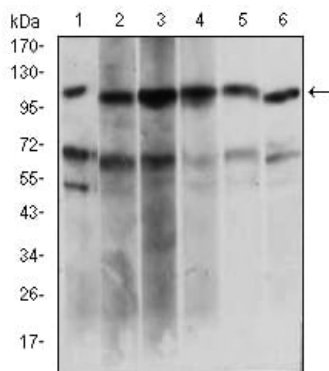
研究分野

-

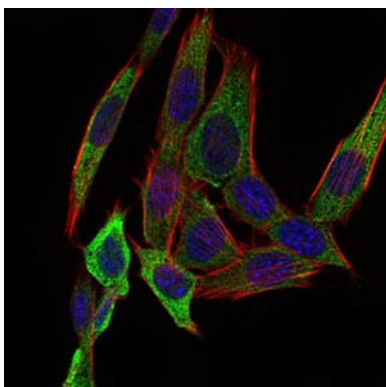
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela (1)、HepG2 (2)、OCM-1 (3)、Raji (4)、Jurkat (5)、NIH/3T3 (6) 細胞溶解物に対する PAPLN マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



PAPLN マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。